

第2回 地域インフラ群再生戦略マネジメント計画策定手法検討会

第2回 地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会

令和5年10月23日

【齋藤公共事業企画調整課長】 それでは、定刻となりましたので、ただいまより第2回地域インフラ群再生戦略マネジメント計画策定手法検討会及び第2回地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会を開催いたします。

本日の進行を務めます総合政策局公共事業企画調整課の齋藤でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、検討会の開催に当たりまして、技監の吉岡より、一言御挨拶を申し上げます。

【吉岡技監】 みなさま、こんにちは。今日はありがとうございます。国土交通省技監の吉岡でございます。委員の皆様におかれましては、御多忙の中、地域インフラ群再生戦略マネジメントの計画策定手法検討会、それと実施手法検討会に御出席いただきまして、深く感謝申し上げたいと思います。

まず、最近の政府の動きでございますけれども、先月26日に総理の指示で総合経済対策を取りまとめるということになりまして、今議論を加速して取りまとめを進めているところでございます。その中に国土強靱化というのが一番大きな、5本あるうちの一つの大きな柱になっておりまして、先週の19日には総理がヘッドでございます国土強靱化推進本部が開かれまして、その中で総理から今月中に取りまとめる経済対策の中で国土強靱化、それから防災減災施設の施策をしっかりと盛り込み、強力に取組を進めていくという御指示もあつたというところでございます。

今、経済対策の議論もしておりますけれども、この国土強靱化の一環の中にインフラメンテナンスと、3本柱になっているわけでございますけれども、確か防災の対策と、それからインフラメンテナンス、DXと、3本柱になっている。重要な柱の一環になってございまして、本日検討会で議論している分までも含めて、予防保全への本格的な取組に向けた対策をしっかりと進める必要が重要であると思っております。

今回の検討会については、特にいわゆる群マネのモデル地域の選定について御議論をいただきたいと考えているところでございます。群マネの新たな考え方を全国的に広げていく、展開していくためには、先駆的な事例となるモデル地域での検討を通じた知見を蓄積するということが非常に重要であると考えてございます。限られた時間でございますけれども

も、ぜひ委員の皆様から、専門的な見地から忌憚のない御意見を賜りたいと考えてございます。よろしくお願いをしたいということをお願い申し上げて、甚だ簡単ではございますけれども、私の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いたします。

【齋藤公共事業企画調整課長】 次に、計画検討会及び実施検討会の座長を務めていただく家田座長、小澤座長より、それぞれ一言ずつ御挨拶をお願いいたします。

【家田座長】 皆さん、どうも御苦労さまでございます。特に私から今の時点でとりたててこれということをする必要はないですが、せっきまくスコミの方がいらしていますので、このやっていることの根本的な趣旨みたいなものを一言、申し上げたいと思います。

簡単に言いますと、このインフラメンテナンスの問題というのは結構大物で、強敵で、片づけるには相当な努力が要るんですね。だから、やらなきゃいけないことは何かというと、一言で言うと束になってかかるということです。束になってかかる。その束になってかかるというのはいろいろな意味があるんだけど、1,700もある自治体の人たちに束になってもらって市区町村長会議というのをつくって大いに推進しているし、今度はこのメンテナンスをやるやり方のほうも束になってかかるということでございます。

その具体的なのが、難しく言うと群再生戦略と、こういうことですがけれども、ぜひ、新聞か何かの方だったら、束になってかかるというのを書いていただけると、一般国民にも分かっていたらいいんじゃないかと思う次第でございます。どうも、失礼いたしました。小澤先生、どうぞ。

【小澤座長】 実施手法検討会の座長を仰せつかっております、小澤と申します。よろしくお願いたします。

その束になる束ね方の説明を少しだけ追加させていただければと思いますけれども、今までは一つの地方公共団体の中で業務を束ねる、あるいは施設を束ねる、一つの自治体の中での束ね方を検討してまいりました。今回は、この群再生戦略マネジメントの中で、自治体の境界を越えて束にする束ね方はないかということを議論していただくというのが趣旨でございます。

本日からモデル地域を選定して、その中で具体的にどう束ねるかという議論をさせていただくということになってございますが、一つの自治体の中での束ね方にもなかなかいろいろな工夫の余地があって、地域を越えて束ねるためにはさらに我々の知恵を出していく必要があると感じております。委員の皆様、多様な専門知識を持っておられる方に集まっておりますので、これからそういう束ね方の議論を深めていきたいと思っております。

す。御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【齋藤公共事業企画調整課長】 ありがとうございました。

続きまして、本日の御出席の委員の方々の紹介ですが、次第の次ページにつけております委員名簿、出席者名簿をもって代えさせていただきます。

次に、資料説明及び質疑応答に関しまして御案内でございます。委員の皆様には資料を事前に送付させていただきましたが、事務局より説明資料を画面で共有いたします。本日の会議は対面及びウェブシステム併用でございます。御発言がある場合は、会場で参加されている委員の皆様は、通常どおり挙手していただければと思います。また、ウェブで参加の委員の皆様につきましては、T e a m s の挙手ボタンを押していただければと思います。また、会場にお越しの委員の皆様、お手元のスマートフォン、目の前に置いてございますが、そちらはカメラ用でございますので、操作をしていただく必要はございません。

また、議事に先立ちまして、今回の検討会の会議及び議事の公開について確認をさせていただきます。本日の検討会の議事は、議事1、2につきましては公開、3は両検討会の設置要領第3条6項に基づきまして、非公開とさせていただきたいと思っております。議事2の終了後、委員及びオブザーバーの皆様については、事前に御案内のとおり、別の会議URLへ移動していただきますので、よろしくお願いいたします。傍聴の方は、議事2の終了後、退出いただきますよう、お願いいたします。

また、資料につきましては、議事に記載のとおり、議事次第から、資料1から3、参考資料1から2となり、そのうち資料3及び参考資料2につきましては非公開の資料とさせていただきます。委員及びオブザーバーへの配付のみとさせていただいております。また、マスコミの方は冒頭のカメラ撮りはここまでとさせていただきますが、もういらっしゃらないですね。

以後の進行についてでございますが、本日は計画検討会及び実施検討会の共催で、議事内容も両検討会共通のものとなっておりますので、前回と同様、年長の家田座長に進行をお願いできればと思います。

また、本日の議事につきましては共通の内容でございますので、両検討会は全ての委員の皆様にご一緒になって議論に加わっていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは家田座長、よろしくお願いいたします。

【家田座長】 年長だということですからけれども、50音順ということにしましょうかね。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

それでは今、御説明ありましたとおり、議事の1と2を先にやりたいので、この説明をお願いいたします。

【岩井アセットマネジメント企画調整官】 公共事業企画調整課の岩井でございます。それでは事務局より、資料1、資料2に基づいて説明させていただきます。

まず、資料1をお開きください。こちらは前回の検討会でいただいた御意見と対応につきまして、検討会の中でも述べさせていただいたものも含めまして、改めて一覧表にまとめてございます。P1からP3につきましては、全般的な御意見という形でまとめております。御意見のポイント、今までの意見のところの下線部で示しております。例えば今回いただいた意見の中で、周知やインセンティブなどもございました。そういったものは、引き続き省内でも連携を図りながら検討してまいりたいと考えております。

また、3番ですが、独自の取組などの対応につきましては、手引きやモデル検討に当たって考慮していきたいと思っております。2ページ目になりますけれども、8番のDX・プラットフォームなどについても御意見いただきました。こちら、モデル地域を今回、選定させていただきますけれども、この地域のデータの保有状況などを踏まえまして、データの活用についても検討を進めさせていただければと思っております。

次のページになります。9番目、メンテナンスの産業化についての御意見につきましては、今回、モデル地域での計画策定や業務実施の検討過程におきまして、地域産業の動向なども分析して、産業化の視点も踏まえた民間事業者の参画しやすい仕組みを考えていきたいと思っております。

4ページ目から5ページ目につきましては計画策定に関する御意見をまとめております。主なものといたしましては、施設の絞り込みですとか自治体負担への配慮、既存計画との整合、次のページには都道府県の役割についての御意見をいただきました。これにつきましては次回以降、計画検討会の中で示しながら手引きへと反映させていただきたいと考えてございます。

6ページ、7ページにつきましては、維持管理業務の実施に関する御意見と対応をまとめてございます。主に契約などに関する御意見を多くいただいたところでございます。例えば24番、事例の分析につきましては、資料2でも後で御説明しますが、モデル地域の検討と並行して整備を進めさせていただければと思っております。

また、次のページの33番にありますけれども、制度的な課題といった御意見もございま

した。検討過程で確認させていただいた制度的な課題につきましては、関係部署と連携しながら検討して進めていきたいと考えてございます。

8ページにつきましては、公募に関する御意見をいただいております、こちらについては公募に反映させていただいた次第でございます。

引き続き、資料2を御説明いたします。スケジュール等についてという資料を御覧ください。1ページ目になりますけれども、第1回検討会でお示しいたしました2つの検討会における議論事項について、今回少し追加をさせていただいて、お示ししております。まず、左のほうになりますけれども、第1回目、第2回目の議論ということでございますが、今回、同時開催させていただきまして、主に群マネの考え方ですとかモデル地域の選定についての助言などを議論させていただいております。

今後、次回以降についてでございますけれども、モデル地域における検討の進捗ですとか支援と並行しまして、既往の先行事例をもとに各検討会で議論を進めさせていただければと考えてございます。まず、上段のほうの計画検討会でございますけれども、計画に関する広域連携の事例、例えば下水道の広域化などもございますけれども、これらの分析も行いまして、計画について検討する上での留意点などについて整理を行ってまいりたいと思えます。これらの検討の成果をモデル地区での検討にも生かしながら、表に示すような議論について進めていきたいと考えてございます。

具体的にはモデル地域での国交省の支援といたしましては、先ほど事例収集ということもありましたけれども、既存のですとか、また類似の取組事例の情報提供を行うとともに、モデル地域における群マネの考え方、広域連携や他分野連携の観点を踏まえて、当面のインフラの措置ということで基本的な方向性について検討いただく過程で、モデル地域における課題や対応方針の整理の支援を進めていきたいということで考えてございます。

続きまして、課題になりますけれども、実施検討会では維持管理業務の実施、例えば分野横断に関する包括的委託ですとか広域連携に関する業務、維持管理業務の連携などもございます。こうした基本の事例につきまして、現在、その他の支援を行っている包括的民間委託の事例も含めて分析を進め、課題の整理を進めてまいりたいと考えてございます。また、今後のモデル地域における検討の進捗状況に応じまして、具体的な維持管理業務の実施方針に向けた効果ですとか、スキームの検討の支援を行っていくというところでございます。

両検討会においてこれらの検討を行いながら、最終的には手引の策定もしくは改定に向けた骨子案を適宜、提示させていただきたいと考えてございますので、御議論、御意見、賜

れば幸いと考えてございます。

続きまして、2ページ目になります。こちらは今後のスケジュールということでございます。先ほど述べさせていただきました議論事項を踏まえまして、前回から少し内容を更新させていただきます。第3回からは各検討会を個別に開催させていただきます。計画検討会、実施検討会、それぞれ企業事例の分析ですとかモデル地域の概況などを御紹介させて、議論させていただければと思っております。

そうした中で、第4回以降で計画検討上の留意点の整理ですとか、モデル地域の計画策定方針への助言、群マネ計画手引き策定に向けた議論等を計画検討会のほうで行っていきたいと考えておりますし、実施検討会では実施における課題の整理、モデル地域の業務実施方針への助言などを行っていただきたいと考えております。

こちら、令和6年度、7年度に向けてについても引き続き、議論を進めていきたいということで、適宜、中間取りまとめも、支援エリアごとに行っていきたいと考えてございます。

説明は以上でございます。

【家田座長】 御説明ありがとうございました。

それでは、今の資料1と2、ここまでにつきまして、皆さんからの御質問や御意見をお受けしたいと思います。フロアの方は手を挙げていただいて、ネットの方は手を挙げるのボタンを押していただくというふうにいたしましょう。いかがでしょうか。ネットのほうはどなたが手を挙げているか、僕のほうからよく見えないので、見てくださいね。挙がっている人いますか。今のところいないですか。はい。こちらはいかがでしょう。どうぞ、久田先生。

【久田委員】 久田でございます。スケジュールの御紹介がございましたけれども、今回、後ほど群マネモデル地域の選定という資料もついているようですけれども、2024年度、次年度以降は募集をするのかどうか、確認させていただきたかったんですが、いかがでしょうか。

【岩井アセットマネジメント企画調整官】 今回、モデル地域の選定にも関わってきますので、また後ほど御回答させていただきたいと思っております。

【久田委員】 分かりました。ありがとうございます。もう一点、よろしいでしょうか。

【家田座長】 どうぞ。

【久田委員】 要望ですが、今回の対象地域で果敢に手を挙げていただいた皆さん方ですので、実効のある群マネ戦略をお進めいただくとともに、先行事例として呼び水のような形で近隣の地域にもいい波及効果を出していただきたいという期待があるんですけれども、

何かその辺のアウトリーチといいますか、宣伝というか、何か情報の発信の仕方でいろいろ何か次の、そういうことだったらうちもやろうかなというような、呼び水をしていただきたいと思いますので、ぜひ御検討いただきたいと思います。

【家田座長】 どうぞ。

【岩井アセットマネジメント企画調整官】 ありがとうございます。モデル地域を選定させていただいた後、各地域で取組を進めますけれども、地域の進捗状況に応じて適宜、セミナーですとかそういったところで事例発表ですとか紹介をさせていただければとは今、考えてございます。

【久田委員】 はい。ありがとうございます。

【家田座長】 ほかにいかがでしょうか。ウェブでは挙がっていませんか。ほかにはよろしいですか。ありがとうございます。

では僕からも一言だけというか、スケジュールの表の中にフレームワークというか、1ページの辺りに大変重要なことが書いてあるんですけども、素朴な話、この群マネをどうやってやるかなということがこの2つの検討会のミッションということになるんですけども、特に上流部については理念といいますか思想というのか哲学というのか、そういうようなものをおいおいいろいろ検討する、あるいは意見交換することが重要だと思うんですね。

それは、どうしてそれを言うかということ、ここまでの日本の政策の大局的な流れを言うと、戦後の高度成長期くらいまではとにかくわーっと行かなきゃ国ごと潰れちゃうんで、集中攻撃で行ったわけだけでも、その後は地方で考えていただくことは地方で考えるし、そこには独自性も必要だしというある種、地方分権、非常に重要なことで、重要ですけどもね、という流れできて、ともするとそれは地方の話でしょうという面もあったかと思うんですね。

だけど、そうこうしてもこれはどうも、このメンテナンス問題というのはそういうものでもないところがスタート点になっておりますので、ぜひ地方分権的な発想は、新しいことをやっていくのはぜひ地方かなというDNAと、さはさりながら東になってかからなきゃとてもじゃないけど解決できっこないよねという、その2つのベクトルを両方持っているという、反対ベクトルじゃないんですよね。90度ぐらい違うわけで、その中のちょうどいい解を見いだすというのが今回の大ミッションだと思うんですね。その辺の意識をできる限りすっきりと論述していただくということが、地方で物を進めるときには大事な

ものになると思うんですよね、メンテナンスやってない人たちに説得する時のね。

それからもう一つ、日本の国が急速に物をつくってきたので、急速に手を打たなきゃいけないというところがあるんですが、イギリスなりアメリカなり、もっと早くからインフラ、大量なインフラを整備していた国は日本と同じような課題を抱えてきたはずでありますし、そこでは一体我々が今群マネと呼んでいるような考え方がどのような哲学で整理されているのかというあたりも、急に決めてもらう必要はないですけども、おいおい勉強をしていただけたらと思うし、そういう議論をすべきだと思っているところでございます。余分な話ながら、お話しさせていただきました。

委員の皆さんからほかに御発言はよろしいですか。どうもありがとうございます。ウェブのほうも大丈夫ですね。ありがとうございます。

それでは、資料1と資料2の話題は以上ということにさせていただきたいと思います。

【齋藤公共事業企画調整課長】 家田座長、ありがとうございました。

それでは、ここから非公開の議事となりますので、傍聴参加の方は御退出をお願いいたします。ウェブ参加の委員の皆様及びオブザーバーで参加の方につきましては、事前に御案内しているURLからもう一つの議事3用のウェブ会議に御移動をお願いいたします。ここで、移動の時間で、5分程度休会ということにさせていただき、委員の方皆様が新しい議事3用のウェブ会議に入られたことを確認してから再開したいと思います。13時25分から再開したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

—— 公開議事了 ——